

2021年度 第2回8月 東大本番レベル模試 採点基準(現代文)
第一問(評論) 採点基準(合計点40点)

(一) 7点

(模範解答例)

A ○

貨幣は、〈1点〉

B ○3点

持ち主が 材質や形状等ではなく、額面にのみ興味を示し、〈3点〉

C ①○1点

また使用者との間に質的な関係を結ばず、

C ②○2点

指示する価値だけが独り歩きするものだということ。〈3点〉

◎ 採点のポイント

A 「貨幣は、」〈1点〉

※傍線部を説明するための、話題提示の条件。解答の主語が貨幣になっていれば○1点。

× 「貨幣」の成分が入っていなければ×。

B 「持ち主が材質や形状等ではなく、額面にのみ興味を示し、」〈3点〉

※「材質や形状、模様」と具体的に触れていなくても、貨幣それ自体に「使用価値」がないということが説明できていれば可。

具体的に書くと、「持ち主は貨幣の材質や形状に興味を示さない」となるが、

抽象的に書くと、「貨幣それ自体の使用価値を持たない」となる。どちらの表現も○。

C 「また使用者との間に質的な関係を結ばず、指示する価値だけが独り歩きするものだということ。」〈3点〉

① 「また使用者との間に質的な関係を結ばず、」の要素。1点。

○ 「使用者の質を問わず、」「使用者の品性を問題とせず、」「用いる人間のいかなる影響を受けることなく」「(貨幣に) かかわる人間のいかなる影響も受けず」などでも可。

② 「指示する価値だけが独り歩きするものだということ。」の要素。2点。

○ 「指し示している数字のみが意味を持つということ。」「指示する額面だけが力の象徴となるということ。」「などでも可。貨幣は「交換価値」のみを持つということが説明できていれば可。

具体的に書くと、「指示する価値(額面)だけが意味を持つ」となるが、

抽象的に書くと、「交換価値のみを指し示す」となる。どちらの表現も○。

(二) 9点

(模範解答例)

A ○ ネット上の剣呑な言葉が 〈1点〉

B ○ 週刊誌等にも広がって、 〈1点〉

C ○ 丁寧、懇懃、良質な言葉は意味を衰えさせ、 〈3点〉

D ○ 言葉の強度だけが言葉の価値となって、 〈3点〉

E ○ ※E要素がなくても、A〜D要素すべてそろっていたら1点加点。人の破滅を招いてしまうこと。 〈1点〉

◎ 採点のポイント

※A B C Dの要素の順番は問わない。しかし日本語としておかしいものは×。

※E「人の破滅を招いてしまうこと」はなくても、A〜D要素すべてそろっていたら1点加点して満点としてください。別解も参照してください。

A 「ネット上の剣呑な言葉が」 〈2点〉

※「①ネット上の②剣呑(危険・不安な感じ)な言葉」ことに触れていれば○。

○ 「ネット上の危ない言葉」「ネット上で用いられる攻撃的な言葉」などでも可。

× 「ネット上の剣呑な言葉」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

B 「週刊誌等にも広がって、」 〈2点〉

○ 「週刊誌の見出しなどにも踊り、」「ネットの外にまで広がる」などでも可。

× 「ネット以外のところにもまで拡散」「ニュアンスの成分が入っていないければ×。

C 「丁寧、懇懃、良質な言葉」 〈2点〉

※「ネットの言葉の拡散により丁寧、懇懃、良質な言葉が意味を失う」、もしくは「ネット上の言葉は丁寧、懇懃、良質な言葉ではない」、どちらの文脈で用いても可。

○ 「丁寧、礼のある、懇懃な言葉は」「配慮のある言葉」などでも可。同内容であれば○。

× 「丁寧な言葉、礼のある言葉、懇懃な言葉、良質な言葉」などのニュアンスの成分が入っていないければ×。

D 「言葉の強度だけが言葉の価値」 〈2点〉

○ 「言葉の強さだけに価値を置く」「言葉の衝撃度のみが評価基準になり」などでも可。

× ネット上から、週刊誌等外に拡散しつつある言葉は「言葉の強さだけに価値を置く」言葉であることに触れていなければ×。

E 「人の破滅を招いてしまうこと。」 〈1点〉

※E要素がなくても充分な解答になるため、A〜D要素すべてそろっていたら1点加点してください。

○ 「人を破滅させること。」「人を滅ぼしてしまう事態。」などでも可。語尾が明らかに問いに対応できていないものは1点減点。

(二) 9点

【別解】※前の模範解答例の要素Eをメインにした別解答。

A ○

ネット上の匿名の言葉の使い手が、〈2点〉

B

その言葉が力を持つのはネットの中だけであることを忘れ、〈2点〉

C

ネット上での言葉の万能性を〈2点〉

D

自らの万能性と勘違いして 〈2点〉

E ○

破滅する事態。〈1点〉

◎ 採点のポイント

※前の模範解答例の要素Eをメインにした別解答。

A 「ネット上の匿名の言葉の使い手が」〈2点〉

※破滅するのは「ネット上の匿名の言葉の使い手」であることが書かれていれば○。

○ 「ネット中の言葉の使い手」などでも可。

× 「破滅する」の主体が違う、明記されていない場合は×。

B 「その言葉が力を持つのはネットの中だけであることを忘れ」〈2点〉

○ 「ネット上に飛び交う言葉はリアルな世界では力を持たないことを自覚せず」などで
も可。

× 「ネット上の匿名の言葉はネット上でしか力を持たない」という筆者の意見)のニ
ュアンスがなければ×。

C 「ネット上での言葉の万能性を」〈2点〉

※同内容の表現であれば○。

D 「自らの万能性と勘違いして」〈2点〉

※Cと繋がる部分問。同内容であれば○。

E 「破滅する事態。」〈1点〉

○ 「破滅すること。」「滅ぼしてしまうこと。」「などでも可。語尾が明らかに問いに対応
できていないものは1点減点。

(三) 7点

(模範解答例)

A ○

貨幣が持つ、〈1点〉

B ○

商品市場においてのみ成立し、〈2点〉

C ○

またそのメンバーが信じることにのみ依拠している、〈2点〉

D ① ○

D ② ○

商品市場において どんなものとも交換可能であるという性質。〈2点〉

◎ 採点のポイント

※要素の順番は問わない。しかし日本語としておかしいものは×。

A 「貨幣が持つ、」〈1点〉

○ 「貨幣の」「貨幣が有する」「貨幣は」などでも可。

× 「貨幣」の成分が入っていないければ×。

B 「商品市場においてのみ成立し、」〈2点〉

※ 傍線部を説明すべく、Aを説明してゆく一方の条件。

○ 「商品市場でだけ通用し、」「商品市場においてしか成り立たず、」などでも可。

× 「商品市場限定」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

C 「またそのメンバーが信じることにのみ依拠している、」〈2点〉

※ 傍線部を説明すべく、Aを説明してゆく他方の条件。

○ 「またそのメンバーの信頼にのみ依存している」「人々が信じることによつてのみ支えられている」

× 「メンバーの信頼」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

D 「商品市場においてどんなものとも交換可能であるという性質。」〈2点〉

※ B、Cをまとめて結論づける条件。

① 「商品市場において」の要素。

○ 「商品市場では」「商品市場でならば」などでも可。

× 「商品市場」の成分が入っていないければ×。

点。

② 「どんなものとも交換可能であるという性質。」の要素。

○ 「交換可能でないものはないという性質。」「あらゆるものと交換できるという」性質。「
などでも可。

× 「すべてと交換可能」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

(模範解答例)

A ① 1点

A ② 1点

A ③ 2点

交換価値のみで

身体性を欠き、

使い手がその万能性を誤解する貨幣が、

A ④ 2点

X 2点

市場では流通力を持つが、市場外で紙くずと化すように、

B ① 3点

強度という価値のみで、使い手がその万能性を誤解する匿名の言葉が、ネットでは力を持つが、

B ② 2点

現実世界ではノイズ化すると

C 1点

分かるから。

〈120字〉

(14点)

要素X：A (貨幣) が〇〇である「ように」 B (ネット上の言葉) も〇〇〇の形になっていれば2点

◎ 採点ポイント

※ 要素Xは、「貨幣が〇〇である」と同様に「ネット上の匿名の言葉も〇〇〇」という構造になっていれば加点。(2点)

A 「交換価値のみで身体性を欠き、使い手がその万能性を誤解する貨幣が、市場では流

通力を持つが、市場外で紙くずと化す(ように)「〈6点〉

※ 傍線部の理由説明をするための〈貨幣〉についての説明。

① 「交換価値のみで」の要素。

○ 「交換価値を持つのみで」「交換価値があるだけで、」などでも可。

× 「交換価値」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

② 「身体性を欠き、」の要素。

○ 「無身体性を示す、」「身体を持たない、」「使用価値を持たない」などでも可。

× 「身体性の否定」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

③ 「使い手がその万能性を誤解する貨幣が、」の要素。

○ 「使い手が万能だと思いつい込む」「使う者が万能性を信仰してしまう」などでも可。

× 「万能性の信仰(誤解)」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

④ 「市場では流通力を持つが、市場外で紙くずと化す(ように)」の要素。

※ 「市場では流通力を持つが」という前置きはなくても可。「商品市場の外に出た時に(万能性信仰は)崩壊する」ことが説明できていれば○。

○ 「市場の外では無価値なものと化す」「市場を離れば力を失う」などでも可。

× 「市場外では無価値」のニュアンスがなければ×。

X 「ように」へ2点

※ 「ように」「同様に」「同じように」などの表現を用いて、「貨幣が○○であるのと」「同様に」、ネット上の匿名の言葉も○○」という構造になっていれば加点。(2点)

× この構造になっていないものは×。(X点をあたえない。)

B 「強度という価値のみで、使い手がその万能性を誤解する匿名の言葉が、ネットでは力を持つが、現実世界ではノイズ化する」とへ5点

※ 傍線部の理由説明をするための核心的な〈言葉〉の条件。

①「強度という価値のみで、使い手がその万能性を誤解する匿名の言葉が、ネットでは力を持つが、」の要素。3点

※ 「匿名の言葉はネット上でしか力を持たない」ことの説明ができていれば、可。同内容であれば○。

○ 「強度という尺度があるのみで、使い手が万能性を曲解するネットの言葉が、そこでは力を持つが、」匿名の言葉が力を発揮するのは身体性を必要としないネット内だけであり」などでも可。

② 「現実世界ではノイズ化すると」の要素。2点

○ 「リアルな世界ではノイズに変貌する」「現実では無価値なものと化す」「言葉が身体性と結びつく」リアルな世界では通用しない」などでも可。

× 「現実世界ではノイズ化する」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

C 「〜と分かるから。」へ1点

※ 「気づくから」などでも○。

(五) 各1点(合計3点)

a 喚起

b 遭難

c 築(かれた)

★2021年度 第2回東大本番レベル模試 第二問(古文「狭衣物語」) 採点基準

(一) 文科イ・理科ア 傍線部を現代語訳せよ。 【3点】

※ 全体的な意味に不具合があっても、各部分の訳があっていれば、その部分の点は与えることとします。

〔傍線部〕

A1 うつし心もなく、 B2 え歩みたまはず。

〔解答例〕

A1 正気も失い、 B2 お歩きになることもできない。

〔ポイント〕

A【1点】うつし心もなく、 ↓ 正気も失い、

※「正気」は、「現実感・現実を把握する心」等、また「しっかりした心・確かな心・まともな心」等でもよい。

B【2点】え歩みたまはず。 ↓ お歩きになることもできない。

※「歩けない」の意+尊敬(おろになる・ゝなさる)の意があれば【2点】。

※「歩けない」の意はあるが、尊敬の意がない場合は【1点】。

(二) 文科ウ・理科イ 傍線部を現代語訳せよ。 【3点】

※ 全体的な意味に不具合があっても、各部分の訳があっていれば、その部分の点は与えることとします。

〔傍線部〕

A1 ためらひて、 B2 御前に参りたまへれば、

〔解答例〕

A1 心を静めて、 B2 帝の御前に参上なされたところ、

〔ポイント〕

A【1点】 ためらひて、 ↓ 心を静めて、

※ 「気持ちを落ち着かせて・冷静になって」等でもよい。

※ 「ためらって・躊躇して」等は×。

B【2点】 御前に参りたまへれば、 ↓ 帝の御前に参上なされたところ

※ 「帝の」の有無は不問。ただし、「帝・天皇」以外の人物が書かれている場合は、マイナス1点。

※ 「御前に」＋「参上する」＋尊敬（ゝなさる）の意＋完了（ゝた）＋「と」どころ・・・ので「ため」の4つの要素があつて【2点】。

※ 「参上する」の意がない場合は×。それ以外の要素は、一つ欠けるたびに、マイナス1点。

(一) 文科才・理工 傍線部を現代語訳せよ。 【3点】

※ 全体的な意味に不具合があっても、各部分の訳があっていれば、その部分の点は与えることとします。

〔傍線部〕

A1 いかにして B1 世の例になるばかりの音をば C1 伝へはべりけるにか

〔解答例〕

A1 どのようにして B1 世間の噂になるほどの音を C1 伝え受けたのでしようか

〔ポイント〕

A 【1点】 いかにして ↓ どのようにして

※ 「だっやうて・どっやうて」でもよい。

B 【1点】 世の例になるばかりの音をば ↓ 世間の噂になるほどの音を

※ 「噂」は「話の種・語り草・評判」等でもよい。「前例・先例・評価・模範」等は×。

※ 「世間」の有無は不問。「後世」でもよしとする。

※ 「噂」に相当する語がない「世間に広まるほどの」等は×。

※ 「噂」に相当する語がある場合は「になる」「は」として広まる「等」でもよい。

※ 「ほどの」の有無は不問。

※ 「音を」「は」「笛の音を」でもよい。「音を」がない場合は×。

C 【1点】 伝へはべりけるにか ↓ 伝え受けたのでしようか

※ 「伝えを受けた・伝受した」の意がない場合は×。「伝えた・授けた・伝授した」等の意になっている場合は×。

※ 受身かどうか判断できない「伝えられた」などは×。

※ 「伝えを受けた・伝受した」の意がある上で、疑問「〜か」「〜十〜」です。〜ます。〜せいで「〜が」あって【1点】。

文科(二)・文科のみ 傍線部「…」とはどういうことか、そのように思う理由も含めて、説明せよ。 【5点】

〔傍線部〕 道のほど、唐ばかり思える

〔解答例〕 **A2** 中將が心配で **B3** 内裏までの道のりがたいそう遠く感じられるというのと。

〔ポイント〕

A【2点】 中將が心配で

※**B**が0点でも、この項目だけで得点できる。

※「心配で」は「気がかりで・案じられて」などでもよい。

※「中將」と明記されてなく、「息子・子息・我が子」などとなっている場合は**【1点】**。

B【3点】 内裏までの道のりがたいそう遠く感じられるというのと。

※「内裏までが遠く感じる」の意があれば**【3点】**。「遠く」は「道のりが長く」などでもよい。

※「内裏まで」の意がない「遠く感じる」は**【2点】**。

※「内裏」は「皇居・宮中・参内する道のり」「、または」中將のもと・中將の居るところ」などでもよい。

※「唐(中国)まで行くかのように」という表現の有無は不問。

文科(三)・理科(二) 傍線部を、「才」の意味を明らかにして現代語訳せよ。【5点】

※ **全体的な意味に不具合があっても、各部分の訳があてれば、その部分の点は与える」としています。**

「傍線部」

A1むげに「**B2**無才にはへらば**C2**口惜しき」となれば、

「解答例」 **A1**全く**B2**漢学の才が「せいませんでしたならば**C2**残念なことであるので、

「ポイント」

A【1点】むげに ↓ 全く

※「全然・少しも・まるで・いっこうに・ひどく」等でもよく、「むやみに・やたらに」でもよしとする。

※「むげに」のまま、「」の上なく」等は×。

B【2点】無才にはへらば ↓ 漢学の才が「せいませんでしたならば

※「漢学の」+「才能がないなら」+丁寧「」です・「います・」を「で**【2点】**」。

※「漢学」が「学問」になっている場合は**【1点】**。「音楽・管弦・漢詩」などになっている場合や、「才」に関する説明がない場合は×。

※丁寧「」です・「います・」を「が」がない場合は、**マイナス1点**。

C【2点】口惜しきことなれば、 ↓ 残念なことであるので、

※「残念な」に相当する意味+「」ので・「から・」のため**【2点】**。

※「残念な」は「情けない・感心しない・物足りない」等でもよい。「悔しい」になっている場合は**【1点】**。

※「」ので・「から・」のため「がない場合は、**マイナス1点**。

文科(四)・**文科のみ**

傍線部は、大臣のどのような思いを言ったものか、説明せよ。

【5点】

〔傍線部〕

A3むなしき跡を見たまへましかば、**B2**明日までも長らへさぶらはざらまし

〔解答例〕

A3中将が昇天していたら、**B2**自分は生きてはいられなかったという思い。

〔ポイント〕

※ 「中将(我が子)を愛おしむ」の意の有無は不問。

A【3点】 中将が昇天していたら、

※ 「中将が天に昇ったら」でもよい。

※ 「中将がいなくなったら」、もしくは「中将が死んだら」となっている場合は**【2点】**。

※ いずれの場合も「を見ていたら・あとを見ていたら」となってもよい。

B【2点】 自分は生きてはいられなかったという思い。

※ **Aが0点の場合は得点できない。**

※ 「明日まで」の有無は不問。

※ 「生きる氣力を失っていた」等でもよい。

文科(五)・理科(三) 傍線部は、大臣のどのような様子か、説明せよ。【6点】

〔傍線部〕 といみじうゆゆしく、いまいまして、かなしう見やりたまへる御けしき

〔解答例〕 **A3** 中将の笛の才能を不吉に感じつつも、**B3** 中将を愛おしく思う様子。

〔ポイント〕

A【3点】 中将の笛の才能を不吉に感じつつも、

※「笛の才能を不吉に感じる」の意があれば【3点】。

※「不吉」は「忌まわしい・忌々しい・いとわしい」等でもよい。

※「笛」が明らかでない「才能を不吉に感じる」は【2点】。

※「笛」も「才能」も明らかでないが、「不吉」に相当する説明がある場合は【1点】。

例 中将を不吉に感じ、 || 【1点】

B【3点】 中将を愛おしく思う様子。

※「中将を愛おしく思う」の意があれば【3点】。

※「愛おしい」の対象が「中将」自体であることが明らかでない場合は【2点】。

例 中将の才能を、……愛おしく思う || 【2点】

2021年度 第2回 東大本番レベル模試 第三問(漢文) 採点基準

(合計点 文科30点、理科20点)

(一)

b 顔に現れず 2点

- ※「顔に現れず」「顔に現れることなく」「顔に出ず」「表情に現れず」「表情に出ず」など。
- ※「口より出でず」と対であるから、「現れる」「出る」のように自動詞であってほしいが、「現す」「出す」のように他動詞でも可とする。
- ※「顔に現さず」「表情に出さず」などでも○。
- ※下へ続く形になっていないものは△ー1点。
- ※「顔に出さない」「顔に現れない」など△ー1点。
- ※「面」「形」のままできていない解答は×。

c 過ちを聞くことを いやがると 2点

- a 1点
- ※「過ちを聞くを」の意味……1点
- ※「過ちを聞く(こと)を」「自分の過ちを聞くのを」「過ちを指摘されるのを」など○1点。
- ※「過ち」は「まちがい」「過失」などでも可とする。
- b 「恥づれば」の訳……1点
- ※「いやがる」と「恥じる」と「なご○。
- ※「恥じ」「恥じて」など、「已然家十ば」の形でないものは×ー1点。
- ※「自分の過ちを聞きたがらないと」のようでも○2点

e しばらくして自分を捨てて 人の言に耳を傾け 2点

- a 1点
- ※「己(おのれ)を舍(す)てて」の訳……1点
- ※「自分を捨てて」「自分の考えを捨てて」「自我を捨てて」「自我に固執せず」など○1点。
- b 「人に従ひ」の訳……1点
- ※「人に従い」のままは×ー1点。
- ※「人の言に従い」なら○1点。
- ※「人の言に耳を傾け」「人の言に従い」「人の意見(考え)に従い」「人の言うことを聞き」などは○1点。
- ※下に続く形になっていないものは×ー1点。(「人の言に従う」など。)

(一)

a 3点

b 4点

c

一人の人間の聡明さで

万物の道理を究明することはできない

ということ。

(7点)

a 「一己の聡明は」のポイント……3点

※「一人の人間の聡明さで」「一人の聡明さで」「一個人の聡明さでは」「どんなに聡明でも一人の間では」など○3点。

※以下のような形は、ややニュアンスが異なる。万物の道理の究明には「多くの聡明が必要だ」ということに主眼があるのではない。

「たった一人の聡明さだけでは」「二人の人間の賢さだけでは」「一人が聡明だけでは」など△-1点。

b 「誠に以て万物の理を窮むるに足らず」のポイント……4点

※「万物の道理を究明することができない」「万物の理を窮めるには足りない」「万物の真理を究明しきれない」など4点。

※右のような表現で、「万物を」のように、「理」の意味合いが欠けているものは△-1点。

※「二人の人間の聡明さが」成し得る（救命できる）ことには限界（限度・限り）がある」のようなまとめ方でもよい。

c 文末の「〜ということ」の有無は不問とする。

(三)

a 2点

自己を修養し人を治め

b 2点

ようとしても

c 3点

どうしてできようか。

(7点)

a 「己を修め人を治め」の訳……2点

※ 「自己を修養し人を治め」「自分を修練して人を治め」「自分を修めて人を治め」「自己を修めて人民を治め」「自分を正しくして民を治め」など○

※ 送り仮名がないので、読めている程度でも可とする。

b 「〜んと欲すと雖も」の訳……2点

※ 「(治め) ようとしても」「(治め) ようと言っても」「(治め) ようと思っても」など○

※ 「(治め) ても」のように「欲」の意が欠けているものは△-1点。

※ 「(治め) ることが」のように「欲」も「雖」もないものは×-2点。

※ aの前に「たとえ〜」のようにあってもよい。

c 「得べけんや」の訳……3点

※ 「どうしてできようか」「どうしてできようか、いやできない」「〜きるはずがない」など○。

※ ただの「できない」は△-1点とする。

※ 「得られようか」「得る〜ことができない」などは×-3点

四 文科のみ

a 3点

b 3点

自分一人の知を頼みとせず、

人の意見を受け入れる度量があったことが、

c 2点

d 2点

聖人賢人と言われる人が

後世まで師と仰がれる理由である

e ということ。

(10点)

※ a b c d の順については不問。

a 「其の知を恃まず」の要素……3点

※本文全体の趣旨の一端である「真の知者」は「自分一人の知を恃まない」というポイント。

※「自分一人の知を頼みとせず」「自分の能力を過信せず」「すべて一人で極めようとせず」「自分だけの考
えに固執せず」「自分の聡明さにとらわれず」など○。

※「何でも自分一人でやらず」「自分を捨てて」など△-1点。

b 「過ちを聞くを喜び」「昌言を探し」「人に従ひ」「人の善を取るを楽しむ」などの要素……3点

※「人の意見を受け入れる度量があったことが」「人の考えを聞く柔軟性があることが」「人の諫言を聞く心
の広さがあったことが」「人の善言を受け入れることをよしとしたことが」など○。

※「人に従ったことが」「人の意見を聞いたことが」「他人の考えを理解しようとしたことが」「過ちを指摘
されることを厭わなかったが」など△-1点。

※「人をほめた」「いろいろな人を見習った」などは×-3点。

c d の主語の補い……2点

※「聖人賢人と言われる人が」「聖人賢人が」「多くのすぐれた先人が」「子路や禹や舜が」など○

※「聖賢が」のまま、「聖人」「賢人」一方のみは△-1点。

※「皆」「皆が」は×-2点。

d 傍線部そのものの内容説明……2点

※「後世まで師と仰がれる理由でもある」「後世まで長く語りつがれる理由である」など○

※「百世」「所以」のポイントの欠如 各△-1点

※「師とされる(先人は〜)」「語りつがれた(聖人は〜)」などは、d×-2点。

※dの位置でなくても「百世」「所以」のポイントがどこかにあればよい。

e 文末の「〜ということ」の有無は不問とする。

第四問 現代文(随筆) 採点基準(合計20点)

(一) 5点

(模範解答例)

A ○

社会の社会たるを擁護する勢力が、〈0点〉

B ① ○

カフカとベケットの作品を 〈1点〉

C ① ○

社会的な意味を持つものとして読んで、〈2点〉

B ② ○

二人の書く行為自体が考えたことを 〈2点〉

C ②

無視したということ。〈0点〉

◎ 採点のポイント

※要素AとC②は、あってもなくても良い。ただし日本語として明らかに成立していないものは×。

A 「社会の社会たるを擁護する勢力が、」〈0点〉

※「社会の社会たるを用語する勢力が、」(≡世間が) という主語はなくても良い。

B ① 「カフカとベケットの作品を」の要素。〈1点〉

×「カフカとベケットの作品」「カフカやベケットの作品」というワードがあれば1点。

B ② 「二人の書く行為自体が考えたことを。」〈2点〉

○「二人が書くことによって考えたこと」「書きながら二人が考えたこと」などでも可。

※「カフカとベケットの作品(要素B①)」は、「自分の声が社会の隅々にまで届くことをまったく望まずに一人の己心として書いたもの」という説明が解答内でできていれば○。説明不十分の場合は1点。

※たとえば「自分の声が社会の隅々にまで届くことをまったく望まずに一人の己心として書いたものであるカフカとベケットの作品は、」という解答は要素B○3点。

C ①「社会的な意味を持つものとして読んで、」の要素。

○「社会的に読む価値があるものとして読んだ」「その社会的な意義を読み取るうとした、」などでも可。

×カフカやベケットの作品を「社会的な意味を持つものとして読んだ」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

C ②無視したということ

※C①の要素があれば、「無視した」というワードはなくても良い。

(二) 5点

(模範解答例)

A ○

カフカもベケットも、〈1点〉

B ○

個人的に、意志の機能しない所でひたすら書いた 〈1点〉

C ○

結果、〈1点〉

D ○ 1点

小説に社会性があつて、その読者も社会に関わるといふサイクルから抜け落ちたこと。 〈2点〉

◎ 採点のポイント

A 「カフカもベケットも、」〈1点〉

※ 傍線部を説明するための話題の条件。

× 「カフカもベケットも」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

B 「個人的に、意志の機能しない所でひたすら書いた」〈2点〉

※ 表現は違つても、同内容であればOK。

○ 「個人として、意志の力に拠らずひたすら書いていった」「書く行為に意志を介在させずに書いた」などでも可。

○ 「個人として」という表現がなくても、「意志を持たずに書いた」ことのニュアンスの成分が入っていれば○。

× 「意志を持たずに書いた」のニュアンスが入っていなければ×。

C 「結果、」〈1点〉

※ 「A B要素の『結果、』D」の構造になつていれば1点。

○ 「結果として」「その結果、」なども可。

× 「結果」という表現があつても、論理関係が破たんしている場合は×。

D 「小説に社会性があつて、その読者も社会に関わるといふサイクルから抜け落ちたこと。」〈1点〉

※ 表現は違つても、A Bの結果として「カフカとベケット(の作品)は社会と関わりを持たなくなった」ことが表現できていればOK。ただし日本語としておかしいものは×。

○ 「小説の持つ社会性と、読者の社会参加をリンクするサイクルから抜け落ちたこと。」「(二人の作品)は社会と関わりのないものになつたといふこと。」「などでも可。

× 「社会性を結ぶサイクルからの脱落」のニュアンスが入っていないければ×。

(三) 5点

(模範解答例)

A①〇1点

A②1点

小説の内容の社会性の問題 ではなく、

B〇1点

小説家が小説の形式を規範化し、

C(1) 2点

それが教育でも組織的に徹底され、小説が社会成員を創り、監視する機能を担っていること。

◎ 採点のポイント

※C要素にのみ、別解C(2)あり。

A① 「小説の内容の社会性の問題」〈1点〉

※ 傍線部をするために前に置く〈notA〉の要素。同内容が欠けていれば可。

○ 「小説の主題や題材の社会性の問題」「小説の関心領域がもつ社会性の問題」

○ 「小説・文学が、社会の関心領域と結び付けられる」などでも可。

× 「小説(の内容)の社会性の問題」の否定のニュアンスがなければ×。

A② 「ではなく」〈1点〉

※ 「〜でなく」「〜だけでなく」「〜よりも」などでも可。

× この構造で解答できていないものは×。

B 「小説家が小説の形式を規範化し、」〈1点〉

① 「小説家が小説の形式を規範化し、」の要素。

○ 「小説家が小説とはこういうものだ」と形を限定し、「小説家が小説の在り方を自ら限定し、」などでも可。

○ 「それ自体一種の規範として書き手の関心領域となることで、」などでも可。

× 「小説家(書き手)が小説の形式を規範化(限定)する」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

C(1) 「それが教育でも組織的に徹底され、小説が社会成員を創り、監視する機能を担っていること。」

※ 解答の結論を、模範解答例のように「教育でも組織的に徹底され、小説が社会成員を創り、監視する機能を担っている」という内容になっているものは○。同内容であれば○。

※ 説明不足や、論理が飛躍しすぎているものは△。

C(2) 「小説・文学の可能性を狭めてしまうこと。」「というように、教育の話に触れず、

※ 「(B形式を規範化すること)、小説・文学の可能性が狭まる」を結論にしているものも可とする。

四 5点

(模範解答例)

A ○

小説家は、「1点」

B ① ○

自分の作品が小説と認められるかという不安を 成功によって忘れるが、「2点」

C ○

他者の作品の可能性を称賛するような場合にその懸念を浮上させるのが常だから。「2点」

◎ 採点のポイント

A 「小説家は、「1点」

※ 傍線部の理由説明をするための、主体明示の条件。

○ 「小説家たちは」でも可。文頭に来ていなくても、解答の主語が「小説家」であれば○。

× 「小説家」の成分が入っていないければ×。

B 「自分の作品が小説と認められるかという不安を成功によって忘れるが、「2点」

※ 傍線部の理由説明をすべく、Aの心情を説明していく一方の条件。

① 「自分の作品が小説と認められるかという不安を」の要素。

○ 「自分の書くものが小説であってほしいという不安を」「自分の作品が小説だと認められたいという不安を」などでも可。

× 「自分の作品が小説と認められるかという不安(懸念)」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

② 「成功によって忘れるが、「」の要素。

○ 「成功すると一時的に忘れるが」「成功が忘れさせてくれるが」「などでも可。

× 「(一時的に) 成功によって忘れる」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

C 「他者の作品の可能性を称賛するような場合にその懸念を浮上させるのが常だから。「2点」

※ 傍線部の理由説明をすべく、Aの心情を説明していく、Bとは(矛盾)する他方の条件。

○ 「海外作品などを賞賛するような場合にその懸念を思い出すものだから」「他の作家の作品の可能性をほめる時などにその不安を想起しがちだから」「などでも可。

× 「不安(懸念)の想起(根本では忘れていない)」のニュアンスの成分が入っていないければ×0点。

別解①

A① 1点

読み書きの訓練とはそれ自体社会の成員の規範の訓練であり、

A② 1点

小説家もまた

B 1点

そのようにしていつのまにか身に付けてしまった

C 2点

社会の規範に縛られているから。

◎ 採点のポイント

A① 「読み書きの訓練とはそれ自体社会の成員の規範の訓練であり、」〈1点〉

※「読み書きの訓練は社会の構成員を創造するためのものである」ことを説明していれば○。
同内容であれば、異なる表現であっても○。しかし日本語として成立していないものは×。

A② 「小説家もまた、」〈1点〉

※ 文頭にあってもなくても、解答の主語が「小説家（たち）」であれば○。

× 「小説家」の成分が入っていないければ×。

B 「そのようにしていつのまにか身に付けてしまった」〈1点〉

※ 社会の規範についての説明部分。

○ 「自覚しないまま身につけた」などでも可。

× 「いつのまにか身に着けた」のニュアンスが入っていないければ×。

C 「社会の規範に縛られているから。」〈2点〉

※ 解答の結論となる部分。

○ 「社会の規範から抜け出せないから。」などでも可。

× 「社会の規範に縛られている」のニュアンスの成分が入っていないければ×0点。

別解②

A 1点

小説家たちは、

B ① 1点

社会のなかで受容されている規範的な小説のありかたに縛られて、

B ② 1点

C 2点

その規範そのものを疑ったり逸脱したりすることがないから。

◎ 採点のポイント

A 「小説家たちは、」へ1点

※ 傍線部の理由説明をするための、主体明示の条件。

○ 「小説家たちは」でも可。文頭に来ていなくても、解答の主語が「小説家」であれば○。

× 「小説家」の成分が入っていないければ×。

B 「社会のなかで受容されている規範的な小説のありかたに縛られて、」へ2点

① 「社会のなかで受容されている規範的な小説のありかた」の要素。1点

○ 「社会に浸透している小説の規範的なあり方」などでも可。

× 「規範的な小説のありかた」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

× 説明不足と判断できるものは×。

② 「縛られて、」の要素。1点。

○ 「抜け出せず」などでも可。

× 「(規範に) 縛られている」のニュアンスが入っていないければ×。

C 「その規範そのものを疑ったり逸脱したりすることがないから。」へ2点

※ 「規範そのものを疑うことがないから。」と同内容であれば○。

○ 「」などでも可。

× 「」のニュアンスの成分が入っていないければ×0点。